

戦前期の代表的な知米派自由主義者、鶴見祐輔が戦後に著した随想集を復刻

鶴見祐輔

〈学術著作集ライブラリー〉

著作集

全8巻

つるみ ゆうすけ

発行 学術出版会
発売 日本図書センター



新渡戸稲造の後継者と目され、

太平洋を越えて活躍した鶴見祐輔。

スケールの大きな発想、

雄渾かつ自在な文章により、

敗戦後に多くの日本人を勇気づけた、

貴重な回想と提言をふたたび。

限定
100セット

鶴見祐輔著作集について

1. 昭和戦前期から戦後にかけて政治家・著述家として活躍した鶴見祐輔が戦後、公職追放を受けていた時期に著した回想・随想集『成城だより』を復刻。

2. 幅広い交友があった著者による、新渡戸稲造、ウイルソン米国大統領をはじめとする要人との交流録、人物評、旧制一高の思い出など、興味の尽きない記述内容。

3. スケールの大きさゆえに、いまだ評価が定まったとはいえない鶴見祐輔。唯一まとまった著作集といえる本書は、その政治観、文壇への入門として最適のテキストである。

各巻の内容

第1巻 冬来りなば (一九四八「昭和二三」年)

厳冬手記／晩冬一日／春窓雑記／生活記録／春遠からじ／成城町縁起
森鷗外やディケンズをはじめとした愛読書の数々について語り、日常生活のなかで戦後の文化的混乱を見つめながら、日本再建の方途を探る。冬の日の暖炉の炎のように、静かな筆致のなかに強い意思を語る。

自由への闘ひ (一九四八「昭和二三」年)

近代文明社会と人類の退化／モンティチェロの山荘／菊池寛君のこと／世間の批評／宝船の到来／珈琲の味はひ／春雨の朝／日記をつける楽しみ／ソラの映画／経済国民と政治国民／チャーチルの大戦回顧録を読みつつ／夏来る／サンタヤーナ ほか
「幸福は自由より生じ自由は勇氣より生る」を題辭に掲げ、自由と文明をテーマに、ジェファソン、ソラ、チャーチル、サンタヤーナを語り、豊富な読書や欧米での生活経験から日本文化を見直す。

夢を抱いて (一九四九「昭和二四」年)

文章生活者三題／正論と清論／古聖の旧跡／探偵小説について／ツルゲニエフ／思索の自由／言葉の監督者／売れる本と売れない本／三つの死／わが庭の住人たち／荘厳なる死／一宮房治郎君の思出／国交とユーモア／無銭旅行の記 ほか
岡山中学時代の友人との思い出「無銭旅行の記」など、自らの少年・青年時代を回想しながら、書物や身辺の出来事、戦後の混乱の中で感銘を受けた事象について語る。

文明の行くえ (一九四九「昭和二四」年)

ピアドさんの思出／軽井沢にて／秋興小品／新しい歴史の見方／望郷漫筆／礼賛文三題
著者と岳父後藤新平は、アメリカの歴史・政治学書ピアド博士との間に特別の親交があった。後藤新平の東京市政にピアドが与えた影響についての証言などを含む興味深い回想と、トインビーの歴史観にもとづいて日本を考察した歴史論を中心とした一冊。

永遠の師 (一九四九「昭和二四」年)

山茶花一輪／紙／百舌啼く／心の檻／朋遠方より来る／ウイルソンの著書二つ／若き日本人の新しい目標／政治に志す若人との問答／カーライルの英雄崇拜論 ほか
著者に深い影響を与えたカーライルの『英雄崇拜論』を縦軸に、著者の特徴であり、その行動力の源泉でもあった英雄的人物像への志向を語る巻。現代にも通じる「政治とカネ」の問題を体験にもとづいて語る「政治に志す若人との問答」はユーモアと批評眼の効いた一編。

第6巻

筆は剣よりも強し (一九四九「昭和二四」年)
日本文化の一課題／暖かい美しい国／成人するといふこと／文化は意外なところに／菊五郎の「おどろ」を読む／再び日本語について／カーライルの英雄崇拜論―後篇 ほか
日本文化論を中心に、戦争で敗れた日本人に、自分たちの文化を見直し、自信をもつて生きていくことを説く。書き言葉と話し言葉に関する洞察は、米国で講演し多くの聴衆に感銘を与えた筆者ならではのもの。

第7巻

感激の生活 (一九四九「昭和二四」年)
即興論／法隆寺が焼けた／岡田啓介氏の追憶談を読んで／カーソン卿の一生／泥棒にさられた話／正宗白鳥さんの話／英国民の叡智／二十五年の回り道／立直る力／一高時代 ほか
旧制一高在学中の思い出を中心につづった一冊。寮でのエピソードの数々、後輩の谷崎潤一郎を面接した体験、日本海海戦時の心境など、明治という時代の高揚した気分がなかなかの学生時代を語る。

第8巻

自由と秩序 (一九五〇「昭和二五」年)
ユカリプタスの杜／日は流れる／ヘミングウェイ／彼の幸福の源泉／私の心は明るかつた／本を読むのは忘れるため／湯川博士受賞のよるこび／夏目漱石先生の思出／マキャーヴェリーの人間と思想 ほか
復興の兆しを見せ始めた世相に見つけた明るい話題を中心に語る。夏目漱石と一高の生徒たちとの交流を描いた「夏目漱石先生の思出」は印象深い一編。

内容見本

←第4巻「ピアドさんの思出」より(約70パーセント縮小)

いこうのことであつたので、米国の支配階級とは全く縁の遠い身の上であつたのである。その證據にはピアドさんは、それから半年近く日本に居られたけれど、ついで一度も駐日米國大使からは食事招待されなかつたのである。それが日本側では、首相、樞相、外相と、政府要路の人が繰出で歓迎したのであるから、ご本人は全く意外に思はれたに違ひないと思ふ。

そしてこの日本側の接待といふものは、ピアドさん一家の滞在中、一回の故障もなく滑らかに且つ自然に続いた。はじめは後藤伯の盛力による形式ばつた首邊の招宴からはじまつたのであるが、それから後はピアドさんと夫婦の持つた人柄のゆえに、段々と民間の自發的な歓迎に變つていつた。ことに若い新聞人の間に人氣があつたので、一層の國民的人氣に變貌していつた。

ピアドさんは着いた翌日から、すぐ仕事に取り掛つた。先づ東京市政自身の研究をはじめて後藤市長の諮問に答へる一巻の書物としてこれを纏め上げた。それが有名な東京市政論である。それから東京市政調査會の創立に参画して、用意周到な立案をした。且つ東京市の新しい仕事のために、具體案をいくつとなく樹立した。

そして日本國民の關心が、従来は主として中央政府に集中し、地方自治行政になかつた弊風を一新するために、啓蒙運動として全國重要都市で一般講演をすることを承諾した。

鶴見祐輔 略年譜

1885(明治18)年		群馬県新町(現在の高崎市の一部)に生まれる
1910(明治43)年	25歳	7月、東京帝国大学法科大学政治科卒業 11月、高等文官試験合格、内閣拓殖局朝鮮課に勤務
1911(明治44)年	26歳	8月、新渡戸稲造夫妻に従い渡米 この年、鉄道院に転じる
1913(大正2)年	28歳	後藤新平長女愛子と結婚
1918(大正7)年	33歳	9月、9ヶ月間の米国出張 11月、ウィルソン大統領夫妻と会見
1919(大正8)年	34歳	5月、チャールズ・A・ピアド博士に面接
1924(大正13)年	39歳	2月、鉄道省監察官を退職 5月、岡山第7区より衆議院議員選挙に立候補(落選) 8月、コロンビア大学はじめ米国、カナダ、ハワイなど1年半150余回の講演旅行
1925(大正14)年	40歳	7月、第1回太平洋会議(ホノルル)に出席、以降1936年の第6回会議まで毎回出席
1928(昭和3)年	43歳	2月、岡山第1区選出衆議院議員に当選
1930(昭和5)年	45歳	2月、衆議院議員選挙に落選
1932(昭和7)年	47歳	2月、「後藤新平伝」の執筆に取りかかる
1934(昭和9)年	49歳	3月、「ブルターク英雄伝」の完訳に着手
1936(昭和11)年	51歳	2月、岩手第2区から衆議院議員当選、立憲民政党に入党
1938(昭和13)年	53歳	5月、太平洋協会を創設、常務理事に就任。 6月、家族4人を伴い訪米
1940(昭和15)年	55歳	1月、米内内閣成立に伴い、内閣政務次官に就任
1945(昭和20)年	60歳	8月、終戦により太平洋協会を自発的に解散 11月、日本進歩党を結成し、幹事長に就任
1946(昭和21)年	61歳	1月、公職追放の対象となる
1948(昭和23)年	63歳	1月、「成城だより」全30巻の構想で執筆開始
1950(昭和25)年	65歳	6月、「成城だより」最終巻第8巻刊行 10月、公職追放を解除される
1952(昭和27)年	67歳	2月、改進黨結成にあたり顧問となる 10月、岩手第2区にて衆議院議員選挙落選
1953(昭和28)年	68歳	4月、参議院全国区選出議員に当選
1954(昭和29)年	69歳	5月、参議院本会議にて「自衛隊の海外出動をなさざることに關する決議案」の主旨説明を行う 12月、第1次鳩山内閣の厚生大臣に就任
1959(昭和34)年	74歳	6月、参議院議員選挙に落選
1973(昭和48)年	88歳	9月、逝去

*年譜作成にあたり、北岡寿逸編『友情の人鶴見祐輔先生』(私家版 1975)所載山本梅治編「鶴見先生年譜」を参照した。

*表紙肖像：鶴見祐輔(1938年、ニューヨークにて撮影)

鶴見祐輔著作集 全8巻

■定 価 98,700円 (本体94,000円+税) ISBN978-4-284-10298-8

■体 裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,000頁

■底 本 『成城だより』全8巻 (太平洋出版社、1948 [昭和23] - 1950 [昭和25] 年)

■刊 行 2010年10月

■収録内容

第1巻 冬来りなば (1948)

第2巻 自由への闘ひ (1948)

第3巻 夢を抱いて (1949)

第4巻 文明の行くえ (1949)

第5巻 永遠の師 (1949)

第6巻 筆は剣よりも強し (1949)

第7巻 感激の生活 (1949)

第8巻 自由と秩序 (1950)

おすすめ先 大学・公共図書館 / 日米関係史・外交史・日本近代政治史・近代文学の研究者ほか

〈学術著作集ライブラリー〉続刊予定 (*順不同)

春山作樹、谷本富、小泉郁子、木村素衛、青木誠四郎、高橋是清、高坂正顕 ほか

好評既刊

沖野岩三郎著作集 全6巻

ISBN978-4-284-10290-2

■定価
94,500円 (本体90,000円+税)

■体裁
A5判・上製函入・総約2,800頁

■刊行
2010年9月

■解説・略年譜
太田雅夫
(元桃山学院大学教育研究所所長)

■収録内容

- 第1巻 煉瓦の雨
- 第2巻 宿命
- 第3巻 生を賭して / 渾沌
- 第4巻 薄氷を踏みて
- 第5巻 生れざりせば
- 第6巻 宿命論者のことば
解説・略年譜



桐生悠々著作集 全6巻

ISBN978-4-284-00088-8

■定価
78,750円 (本体75,000円+税)

■体裁
A5判・上製函入・総約2,500頁

■刊行
2007年12月

■解説・年譜
太田雅夫
(元桃山学院大学教育研究所所長)

■収録内容

- 第1巻 べらんめえ
- 第2巻 緩急車 第一集 / 第二集
- 第3巻 緩急車 第三集 / 第四集
- 第4巻 有らゆる物の書換
- 第5巻 動揺と不安
- 第6巻 畜生道の地球
解説・年譜



〈発行〉
学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157
<http://www.gaku-jutsu.co.jp>
E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

〈発売〉
日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774
<http://www.nihontoshu.co.jp>

取扱書店